

第3回 桐生市学校規模等適正化境野中学校区検討委員会 議事録

○日 時 令和6年10月11日（金） 午後2時～午後2時38分

○場 所 桐生市立境野中学校 2階 会議室

○出席者

【桐生市学校規模等適正化境野中学校区検討委員会】9名

委員長	丸橋 英雄
副委員長	正田 光生
委員	辻 勇一郎
委員	永井 愛理
委員	蛭間 好江
委員	新井 富美枝
委員	大澤 直也
委員	関子田 美樹
委員	楡井 正弥

【桐生市教育委員会】6名

《事務局》

教育部長	園田 博宣
教育部総務課長	峯岸 孝徳
教育部教育環境課長	糸井 広江
教育部教育環境課教育未来係長	千葉 敦弘
教育部教育環境課教育未来係	新井 広明
教育部教育環境課教育未来係	小池 正文

【傍聴者】 0名

【報道機関】 1社

○議事の概要

1 開 会 [開始：午後 2 時 00 分]

- ・事務局から、過半数以上の委員の出席により、会議が成立することを報告。

2 委員長あいさつ

3 報告事項

- ・議事進行は、桐生市学校規模等適正化中学校区検討委員会及び地域協議会設置要綱第 8 条の規定により、委員長が議長を務める。
- ・資料 10～13 に基づき、事務局から説明。
- ・意見や質疑応答は、以下のとおり。

発 言 者	発 言 内 容
議長(委員長)	第 2 回検討委員会において、委員から、足利市の学校適正配置の事例について、教えていただきたいというご意見がありましたので、このことについて、事務局から説明をお願いします。
事務局 (教育環境課長)	足利市では、令和 3 年 2 月に審議会が設置され、令和 5 年 9 月に審議会の答申がありました。足利市では、望ましい学校規模について、小学校は 12 学級以上 18 学級以下、中学校は 9 学級以上 18 学級以下となっております。望ましい学級規模については、1 学級 18 人以上 35 人以下となっております。望ましい通学条件については、通学方法を問わず、おおむね 40 分以内としており、スクールバスや自転車の通学基準も示されています。 また、足利市では、学校再編に向け、現在設定されている 11 エリアを再検討し、9 エリア、7 エリア、5 エリアという 3 パターンを示しております。
議長(委員長)	事務局の説明のとおり、桐生市と足利市は、同じような進捗状況ですが、望ましい通学時間などに違いがあります。また、昨今の新聞報道では、みどり市も、学校規模の適正化について、検討を進めると出ておりました。これらについても、進捗状況や参考となる事例がございましたら、今後、事務局よりご報告をお願いいたします。 それでは、先ほど、事務局から説明のあった報告事項について、皆様から率直な意見等をお聞きしたいと思います。委員から順にご意見をお願いします。
委員	桐生市 PTA 連絡協議会では、9 月 4 日に行われた会長会議内の情報交換のテーマとして話し合いを行いました。各地域とも同じような意見が出ていましたが、児童生徒数が多い学校は、それほど危機感を感じてないということを知りました。また、新聞報道にもあるとおり、早急に何らかの策を練って、次に進めていかなければならないということは認識しております。

発 言 者	発 言 内 容
委員	資料 10 では、地域ブロック別に児童生徒数の見込みが示されていますが、令和 6 年度、11 年度、16 年度の数字から、中学校を考えると、専門教科の免許を持った教員が教えることができ、部活動等の対応もできると思います。また、一定のクラス数もありますので、子供たちの人間関係等に対して、細かで丁寧な配慮ができると感じております。
委員	前回の検討委員会のときに、学びの保証という点で、桐生市内の以前の小学校のように、児童生徒同士が切磋琢磨する環境づくりが必要なのではないかとお伝えしました。現在、境野小学校の子供たちの運動会の練習の様子を見ておりますと、規模がまだ大きい方であるため、各学年、迫力のある演技、迫力のある声で、気持ち良さそうに表現をしております。資料にある児童数の推移を見ると、境野小学校でも規模が小さくなりますし、また市内の他の学校でも、単学級になるということを考えますと、桐生市の子供たちが、末長く、多人数の中で、1 つの目標に向かって切磋琢磨できるような適正規模が必要なのではないかと考えました。
委員	たくさんの資料を作成していただきまして、ありがとうございます。資料は、令和 6 年度から令和 31 年度まで、25 年後の先まで見通していますが、例えば、10 年後、20 年後と、2 回に分けて統廃合をするのか、または、25 年後を見通して、全市的に 1 回で統廃合を進めるのかということを検討した方が良いのではないかと思います。私の意見では、将来的には旧桐生市で 1 校でも良いのではないかと思います。
議長(委員長)	資料 10 に地域ブロック案が示されましたが、まずは、旧桐生市の 3 つの地域ブロック案について、ご意見をいただければと思います。第 2 回検討委員会では、全市的に考えるというご意見もありましたが、地域ブロック案については、いかがでしょうか。
委員	確かに、この 3 つの地域ブロック案は良いと思いますが、25 年後に予測値のとりの児童生徒数が、実際にいるかはわかりません。まずは、この地域ブロックで統合を進め、その後、再検討となるような気がします。私は、子供たちの成長過程を考えると、なるべく大きな集団で学んだ方が良いと思います。
委員	このように詳細で、親切な資料を作っていただき、ありがとうございます。子供たちのことを考えると、通学については、通学手段問わず 30 分以内となることを考えると、地域のブロック別に進めることが、一番適正であると思います。資料を見てみると、令和 31 年度には、学級数も少なく、少子化になってしまうと思うと、寂しく感じます。地域ブロック案は、とても良い案だと思います。
委員	青少年会議では、先生方から、子供たちの人数が少ないため、人間関係をリセットする時間がないとお聞きしました。単学級では、入学した時点でトラブルがあると、クラス替えがなく、そのまま同じ環境にいることになります。そのような状況を考えると、団体で過ごすことのできる環境が

発 言 者	発 言 内 容
	良いと思います。通学時間が 30 分以内であれば、何とか通えると思いますし、友達がたくさんいる方が、子供同士で様々な考えが生まれてくると思います。3つの地域ブロックに分かれても、年度を追うごとに人数が少なくなりますが、その都度考えていけば良いと思いますので、資料 10 の地域ブロックの考え方で、進めていただければと思います。
委員	資料 10 のように、3つの地域ブロックで進めていけたら良いと思います。他の保護者からは、境野中学校区と広沢中学校区が統合する場合、距離的に難しいのではないかと多くの意見を頂いていたので、この旧桐生市の地域ブロック分けは、適正で、保護者の意見も通っていると思います。この資料を参考に、適正化を進めていければ良いと思います。
委員	今回の資料によって、漠然としていたものが具体的に考えられるようになってきたように感じています。この後、事務局から地域ブロックのエリアごとの話を聞いて、子供たちのために前向きな方向性を決められれば良いと思います。
議長(委員長)	資料 10 の 6 ページでは、中央中、清流中、境野中、梅田中の地域ブロックが示されました。令和 6 年度、16 年度、26 年度と 10 年ごとに見ますと、この地域ブロックの中学校 4 校で統合した場合の生徒数は、令和 6 年度は、710 人、令和 16 年度は、438 人に減少し、学級数は 13 クラスとなります。20 年後の令和 26 年は、生徒数が 231 人で、学級数は、9 クラスとなり、急激に人数等が減少していく予測値となっております。 ただいま、委員の皆様は地域ブロック案についてご意見をお聞きしましたところ、資料の地域ブロック案で良いのではというご意見であったように思います。また、私も、資料 10 の 3 つの地域ブロックで適正化を考えることが、良いのではないかと考えています。他にご意見はございますか。特にないようでしたら、地域ブロック案につきましては、皆様のご了承を得たということで進めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

4 議 題

(1) 境野中学校区における学校規模等適正化の手法について

- ・資料 10 に基づき、事務局から説明。
- ・意見や質疑応答は、以下のとおり。

発 言 者	発 言 内 容
議長(委員長)	資料 10 の 7 ページには、地域ブロック内の 7 小学校の対応方法が示されています。方法①のように、小学校 7 校が 1 回で統合するのは、非常に難しいと感じます。そこで、方法②のように、西小、南小、境野小の 3 校、東小、北小、菱小、梅田南小の 4 校で、1 回目の統合を行い、その後、統合校同士が 2 回目の統合を行うのが良いと、個人的には思っております。 改めまして、中央中、清流中、境野中、梅田中の地域ブロックで、地域協議会を編成することについて、ご意見がございましたら、挙手をお願いいたします。
委員	【特になし】
議長(委員長)	意見がないようですので、境野中学校区としては、中央中、清流中、境野中、梅田中学校区で地域協議会を編成する方向性でありますので、教育委員会には、ご配慮いただきたくお願いいたします。
事務局 (教育未来係長)	ありがとうございます。境野中学校区検討委員会としては、中央中、清流中、境野中、梅田中学校区の 4 つの検討委員会で地域協議会を編成したいという方向性であるということをご確認いただきました。 参考 to 他の検討委員会の検討状況を申し上げますと、中央中学校区検討委員会では、「中央中、清流中、境野中、梅田中の 4 中学校区で地域協議会を編成する方法が良い」というご意見や、「中央中、清流中、境野中、梅田中に川内中を加え、5 中学校区で地域協議会を編成する方法が良い」というご意見、また、清流中学校区検討委員会では、「中央中、清流中、境野中、梅田中の 4 中学校区で地域協議会を編成する方法が良い」というご意見がありました。
議長(委員長)	本日は、各委員さんの所属する団体からのお話や、事務局の追加資料などを基に、境野中学校区における適正化の手法について、ご意見をお聞きしました。 境野中学校区は、地域ブロックの考え方のとおり、中央中、清流中、梅田中学校区と、統合に向けて地域協議会を編成する方向性でありますので、教育委員会には、地域協議会を編成できるように進めていただきたいと思います。よろしくをお願いいたします。

5 その他

6 閉 会 [終了：午後 2 時 38 分]